

7月期財政状況説明会における町民からの主な質問・提案に対する回答(町分)

No.	区分	提案等の概要	提案に対する回答
1	財政推計	<ul style="list-style-type: none"> ・大涌谷の影響で落ち込む歳入をどの程度と考えているのか。 ・推計通りの事業ができるのか。 	<p>町税等、主な歳入の影響額につきましては、噴火警戒レベルにもよりますが、3億以上の減収が見込まれます。</p> <p>歳出につきましては、経費削減を徹底しておりますが、影響額が余りにも大きく、十分な対応が出来ない状況であります。</p> <p>更に、補てんする財政調整基金もない状況でありますことから、赤字決算となることが懸念されます。</p>
2	歳入確保	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理をしっかりとやり、不足額を圧縮すべき。 ・町外職員に対するふるさと納税の呼びかけ。 	<p>26年度末現在の未納町税は5年前と比較し約2億円の減の5億3,700万円となっております。滞納整理については、給料・預金などの財産調査を行い、滞納者に対し滞納処分を前提とした厳しい姿勢で納税折衝を行っております。納税意欲のない滞納者に対しては差押や公売を行い未納町税の収入化に鋭意努めております。引き続き納税の公平性の観点からも滞納者の所有する財産の換価を行い、徴収強化に鋭意取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>町外職員に対するふるさと納税(寄附)の呼びかけについて、これを強制することはできないことは、まず、ご理解いただきたいと思います。しかしながら、町の姿勢として、ふるさと納税制度の拡充を図ることで、これまで以上に税外収入を確保する明確な方針を持っています。「職員一人ひとりがふるさと納税制度の推進役」である認識を持たせた上で、制度案内のちらしや謝礼品カタログなどを配付し、町外の知人、友人らに箱根町のふるさと納税(寄附)への積極的な呼びかけを促してまいりたいと考えております。</p>
3	歳出削減	<ul style="list-style-type: none"> ・細かなことでも具体的な削減目標を定めるべき。 ・人件費削減、サービス削減に躊躇している場合ではない。 	<p>歳出につきましては、現行の住民サービス水準を維持し続けることを第一に考えております。一方で、職員の業務の効率化等による経費削減につきましては、職員説明会や通知により周知しており、今後についてもより一層の経費削減に取り組むものでございます。</p>
4	人件費(職員削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・歳入の減少に見合った削減 ・身を切る姿勢を示すべき ・人口と比較して職員数が多いのではないか。 ・町内給与水準と比較して高いのではないか。 ・職員減を臨時職員、委託に振り替えているのでは削減額はあまり大きくない。 ・巨額の不足額を埋めるにはリストラしかない。 	<p>人口規模が同じ他の自治体と比較すると職員数は多いです。</p> <p>しかし、職員数は、人口のみで算定できるものではなく、町の地形、観光地の特性などを踏まえて決定していますので、決して多すぎることはありません。</p> <p>町民と給与水準を単純比較した場合は、町民の給与は企業の社長からパート社員まで幅広い職種の平均であるのに対し、町職員は正規職員の平均ですので、その平均値で両者を比較することは適切ではありません。</p> <p>正規職員を臨時職員、委託へ切り替えたのでは、ご指摘のとおり大幅な削減にはなりません、少額でも積み重ねることが重要だと思います。</p> <p>職員数は今まで削減に努めてまいりましたが、現状は住民サービスを提供していくために必要な人員になっていきますので、これ以上の削減は難しいと考えます。</p> <p>人員を確保しつつ、人件費を削減していくため、時間外勤務手当の縮減等に努めていきたいと考えています。</p>

No.	区分	提案等の概要	提案に対する回答
5	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 避難所指定施設の修繕を優先的に実施すべき。 	<p>避難所は被災した方が避難する施設であり、長期間生活する必要が出てくる可能性もあります。そのような場合に、少しでも良い環境で過ごしていただくために、各施設所管課と調整し、整備を進めていきたいと考えています。</p>
6	温泉幼稚園・宮城野保育園	<ul style="list-style-type: none"> 財政が厳しい中、宮城野保育園の建て替えを選択することが理解できない。 財政が厳しい今、宮城野保育園の建て替えを実施することが理解できない。 温泉幼稚園の今後のあり方。園児が減少するのを待つのは維持とは違う。 経過説明がないことへの不信感。 	<p>宮城野保育園については、昨年末の調査において、大規模な補修が必要な状態であることが判明したため、改修も検討しましたが、築50年以上経過する老朽木造園舎ということもあり、子どもたちの安全安心のために急きょ建替える判断をしたものです。このようなことから地域への説明が遅くなってしまったものでありますが、3月に温泉地域自治会連合会、4月に宮城野地域自治会連合会、5月に宮城野地域へそれぞれ説明をしており、今後も必要に応じて説明を実施させていただく予定であります。</p> <p>また、温泉幼稚園は、宮ノ下地域において多くの人々が集うコミュニティ活動の中核として、入園、通園を希望される保護者がいる限り今後も存続いたします。</p> <p>園児の減少対策として、平成27年4月1日から預かり保育時間の延長を温泉幼稚園でも必要に応じて実施できるようにしました。</p> <p>子ども子育て支援新制度の施行に伴い、町立幼稚園では、在勤者のお子様の通園も可能となっております。</p>
7	人口減対策	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組について。 	<p>現在、我が国が直面する人口減少問題と経済成長力を確保していくことを最大の柱とし、地方の活性化により人口減少に歯止めをかけ、東京一極集中の是正を進めていくことを狙いとした地方創生の取組みが進んでいます。</p> <p>本町においても、人口減少対策などに注力した「総合戦略」を、今年中に策定する予定となっております。この中で具体策を取りまとめていくこととしています。</p>
8	町の仕事のやり方	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の効率化。 	<p>仕事を効率的に行うよう、時間外勤務の削減に合わせて職員に通知しています。効率化の具体例などについて、事務の参考にしてもらえるよう、職員に周知しています。</p>
9	町民説明	<ul style="list-style-type: none"> 町民と直接対話する機会をもっと設けるべき。 	<p>今回は町の厳しい財政状況をご理解いただきたいとの理由で説明会を開催させていただきましたが、今後も必要に応じて、このような機会を設けていきたいと考えます。</p>
10	新たな取組	<ul style="list-style-type: none"> 観光業が大きな打撃を受けている現状を理解しているのか。 新たな負担を求める時期ではない。 	<p>大涌谷の火山活動により、お客さまが減少し町の柱である観光業が大変大きな打撃を受けていること、そしていまだかつてない先行きの見えない中で観光事業者の方々が大変苦慮していると思います。</p> <p>しかしながら、町の財政は待たなしの逼迫した状況にあり、このままでは行政サービスの提供に支障が出てしまう恐れがあることは変わっておりません。また、災害時に対する備えもする必要があるということをご理解いただきたいと思います。</p>
11	その他	<ul style="list-style-type: none"> 観光以外の町の柱をつくるべき 	<p>新たな産業の育成については、現在取り組んでいる地方創生において、総合戦略策定の外部有識者会議のご意見も伺いながら検討していきたいと考えます。</p>

7月期財政状況説明会における町民からの主な質問・提案に対する回答(町議会分)

No.	区分	提案等の概要	提案に対する回答
1	議員に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・人口に対して議員数が多い。 ・報酬等の削減。 	<p>議員数については、改選毎に社会経済情勢等を踏まえた上で、適正定数等について協議を行い、これまでも削減を行ってきました。</p> <p>箱根町は地域が点在しており、各地域の状況も違うことから、ある程度の議員数が必要であると考えています。</p> <p>また、観光立町であるため、同程度の人口の町村に比べ財政規模が大きくなっています。町民福祉の向上のためには、住民はもちろん、基幹産業である観光等についても対応する必要があることから、現在の議員数は適正であると考えています。</p> <p>しかし、今回の提案を受け、次回改選時（平成29年9月）の検討課題とします。</p> <p>また、議員報酬については、県内14町村の平均よりやや高くなっておりますが、期末手当については町の財政状況を鑑み、自主的に削減等を行っています。今後も必要に応じ対応していきます。</p> <p>また、議員の活動が見えにくい部分があるかと思いますので、積極的に公開していきたいと考えています。</p>